

綱領の役割と骨子

綱領は、われわれの基本的な見解を定式化し、われわれの当面の政治的任務を正確にさだめ、煽動活動の範囲を標示すべき当面の諸要求をしめし、煽動活動に統一性をあたえ、煽動活動をひろめまたふかめ、煽動を小さな、ばらばらな要求のための部分的、断片的な煽動から、社会民主主義的な諸要求の総体のための煽動へたかめなければならない。……

こうして、われわれの意見では、ロシア社会民主労働党の綱領の構成部分は、つぎのようなものでなければならない。(一)ロシアの経済的発展の基本的性格をしめすこと。(二)資本主義の不可避的な結果、すなわち、労働者の貧困の増大とその憤激の増大をしめすこと。(三)プロレタリアートの階級闘争をわれわれの運動の基礎としてしめすこと。(四)社会民主主義的な労働運動の終局目標、この目標の実現のために政治権力をたたかいとろうとするその志向、運動の国際的性格をしめすこと。(五)階級闘争の必然的な政治的性格をしめすこと。(六)ロシアの絶対主義は、人民の無権利と抑圧の条件となっている点で、また搾取者を庇護している点で、労働運動の主要な妨害物であり、したがって、政治的自由の獲得——それは社会発展全体のためにも必要である——こそ党の当面の政治的任務をなしていることを、しめすこと。(七)党は、絶対主義に反対して闘争するすべての党と住民層を支持するであろうし、わが国の政府のデマ的な脆計にたいして闘うであろうということを、しめすこと。(八)基本的な民主主義的諸要求と、つぎに(九)労働者階級のための諸要求、(一〇)農民のための諸要求を列挙し、これらの要求の一般的性格を説明すること。 第四巻 わが党の綱領草案 P244~270 1899年末に執筆

コメント

この考え方は、党綱領一般についてあてはまる。このような観点から課題を見ることによって、実践の方向が明らかになる。

参考

第41巻 P8～11 おそくとも1902年1月8(21)日に執筆

ロシア社会民主労働党綱領作成のための資料*

二 プレハーノフの第一次綱領草案の摘要とそれにたいする若干の修正案

……………

一一 ロシア社会民主党は同一の終極目標をもつ。ロシア社会民主党の任務は、

利益の非和解性をあからさまに示すこと

社会革命の意義を明らかにすること

労働者の勢力を組織すること

一二 農奴制度の残存物……………

注)……………は青山の略

* 1903年のロシア社会民主労働党第二回大会で採択された党綱領は、1901年の末から1902年の前半にかけて、レーニンの『イスクラ』編集局によって作成された。綱領草案作成にすぐれた役割をはたしたのはレーニンであった。党綱領作成についての準備資料は、1902年1～2月に書かれたもので、『イスクラ』編集局による綱領草案作成史上の重要な諸契機を反映している。綱領作成の資料については、本全集、第6巻、3－67ページを参照 第41巻 P580 事項訳注